

ハルピンの冬を乗り切れ

PROFILE

黒川 さくら

2016年、ボラみみ編集スタッフに加入。2017年3月名古屋学院大学卒業後、青年海外協力隊に参加。8月より日本語教師として中華人民共和国黒竜江省にあるハルビン市朝鮮族第一中学へ赴任。2019年7月までの約2年間、同校の中学生に日本語及び日本文化を教える。



中国はとても広く、気候もさまざまです。広東料理で有名な南の地域は暖かく、湿気もあるので日本の環境に似ています。一方で、私の配属先は中国の最北端。夏は暑く冬は寒いことで有名です。しかし、乾燥しているのが日本のようなじめじめしたものは感じません。

ハルピンは、8月半ばから少しずつ涼しくなり、9月にはパーカーのような上着が欠かせません。10月にはコートを着て、まるで日本の冬のようになります。一番寒い時期の12月から2月まで、私は日本から持ってきたスキーウェアを着て凌ぎました。外を歩こうと思っても、1時間以上は歩いていられません。手先や足先がじんじんと痛くなって来るからです。寒いというより、痛いという感覚です。外で、手袋を外してスマートフォンを触ろうものなら手が痛くて痛くて、室内に移動しないと操作できません。また、スマートフォンも一気に電池が無くなり電源が落ちます。私も2回ほど、ポケットに入れていたのにもかかわらず、取りだしたら電源が落ちました。その時は気持ちも携帯も「死(死んだ)」という気持ちでした。

学校でも生徒たちは、ジャンパーを羽織って授業を受けます。また、多くの生徒は湯たんぽを膝において授業を受けます。愛知県の高校生活ではなかった光景です。路上でも、湯たんぽや座布団、インナーソールなど冬ならではのアイテムが売られています。去年の冬、足が寒かったので何度もインナーソールを買おうと思いましたが、買わずに終わりました。今年もきっと買いたくなるのだらうと思います。その時また自分と相談ですね。

そして、11月には地域ごとに暖房が入ります。暖房を入れる時期も止める時期も地域ごとに異なります。暖房が入ると家の中は30度くらいになるそうです。なので、ハルピンの人は10月が一番寒いとも言います。暖房がまだ入らず外着のような厚着を室内でもしないといけないからです。しかし、暖房が入ってからは、室内で半袖の生活です。アイスクリームをデリバリーし、暖かい室内で食べるのが幸せなのだそうです。残念ながら、私の寮は20度前後と少し肌寒いので、ハルピン名物ともいえる「冬は室内で半袖」という生活は体験できそうもありません。

配属先は、1月半ばくらいまで学校があります。日本から持ってきたスキーウェアを着て学校に行くと、先生方に「もっと着なさい。薄着じゃない」と心配されます。スキーウェアは風を通さなくて暖かいと私は感じるのですが、こちらの人は、もこもこした上着や毛皮コートを着ているので、見た目は薄っぺらく見えるみたいです。そこで、中国で買った内側に毛の生えた厚めのズボンを履いていくと、「そうよ。それを履くべきよ。暖かいでしょ」と安心してもらえます。この学校でたった一人の日本人。慣れない気候を心配されるのも無理ありません。私も心配させないように、今年も中国で買ったそのズボンを履いて過ごします。

今回は来年になりますが、中国のお正月をご紹介します。(今回は2019年3月号)



焼き芋売りのおじさん



寒くても負けずに勉強をする生徒

第50回

企業の社会貢献活動の現場から

隔月で、地元企業の社会貢献活動について、各担当者に自社の社会貢献活動を紹介していただいています。第50回となる今回は、株式会社ナゴヤキャッスルです。

地域社会やお客様との交流を大切に、ホテルにできる社会貢献を

株式会社ナゴヤキャッスル 総務部 鴻野亜弥子

当社は、ホテル運営会社として、地域社会との共生を目指し様々な社会貢献活動を行っています。今回は、来年開業50周年を迎えるホテルナゴヤキャッスルの献血運動を中心にご紹介いたします。

名古屋城を眺めながらホテルで献血

ホテルナゴヤキャッスルでは、愛知県赤十字血液センターと連携し、毎年年末にホテルの大宴会場を開放した献血運動を実施しています。年末年始は一般的に献血される方が少なく、1年の中でも輸血用血液が特に不足する時期です。そこで、より多くの方に関心を持っていただけるよう、名古屋城が見える優雅な空間でピアノの生演奏を聴きながらゆったり献血し、献血後には無料のホテルスイーツも楽しんでいただける内容としました。その結果、年の瀬にもかかわらず、毎回200名近い方にご来場いただき、献血にご協力いただいています。この活動は今年で12年目になりますが、今後も長く継続していきたいと考えています。



ホテルならではの様々な社会貢献活動

東日本大震災後、名古屋市が立ち上げた「陸前高田市子どもたちを名古屋へ招待するプロジェクト」に参画。大勢の子どもたちがホテルに滞在し、就労体験などを通してスタッフと心の交流をする中で、たくさんの笑顔を見せてくれました。また、毎年10月には乳がんの早期発見・治療の大切さを伝えるピンクリボンの啓発活動に全社をあげて取り組んでいます。その他にも従業員間で言う活動として、毎月のホテル周辺の清掃活動をはじめ、2009年からは7年間に亘り瀬戸市の「海上の森」で従業員延べ250名が間伐作業に参加し、森林保全活動を行いました。



ホテルは人々が集い、様々な情報発信ができる場所です。今後も地域社会への感謝とともに、ホテルとしてできる社会貢献に取り組んでいきたいと考えています。

株式会社ナゴヤキャッスル

〒451-8551 名古屋市西区樋の口町3-19 TEL:052-521-2121

..... 次回は、リンナイ株式会社をご紹介します。

新団体紹介

隔月で、設立1年未満の団体紹介をしています。NPOやボランティア活動がより身近に感じられるよう、様々な分野の団体を取り上げていきます。

特定非営利活動法人 NAGOYA CITY CULTURE & SPORTS CLUB

団体設立	代表者	連絡先	活動分野
2018年3月20日	長瀬 拓廣	E-mail:nagoyacity.united@gmail.com	スポーツ / 青少年 / 文化

活動目的

名古屋市中心とした尾張、知多地区を含む広域型総合クラブです。サッカーを中心に文化・スポーツの強化と発展に努め、人々の心身の健康増進を図り、地域社会の交流の基盤を形成することにより、豊かで温かく喜びあふれる社会を実現すること。

活動内容

- (1) 社会人サッカークラブの運営
- (2) サッカー教室及び指導者の派遣
- (3) 小・中学生のバスケットボール教室

団体PR

「“あったらいいな”の夢を日常に。」というクラブスローガンのもと、3つのビジョンを掲げて活動しています。
市民クラブとしてサッカーリーグに参入する!
世代、地域を超えて、人々が文化、スポーツを通して交流する!
クラブと産学官が一体となり地域を活性化させる!
地域の皆さんと共に歩んでいきたいと思えます。
クラブの広報活動、社会人サッカーチームの運営などをしてくださるボランティアを随時募集しています。担当者:長瀬